片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

来たるべき未来を生きるために

今は未来に向かい、未来は今に引きずられる

桜咲く四月には、毎年、多くの始まりと、多くの出会いがあります。それは本当に毎年のことで、年によって変わるものでなく、淡々と過ぎ行く時の流れの永遠に繰り返されるワンシーンのように思えます。

このように、毎年毎年、同じように時が流れているように思えますが、よくよく考えてみますと、その時、その時は完全に独立していて、例え、同じ季節であろうと、全く同じものではないことに気が付きます。時は常に変化し続ける存在であり、全く同じ時は二度とやってきません。

特に、そのような時の移ろい易さを考えさせられる時代が、現在なのだろうと思います。時の変わり行くスピードは驚くべきものです。例えば、インターネットになる前の時代では、情報は、テレビ、ラジオ、新聞で得るしかなく、コミュニケーションは、直接会って話すか、電話するか、手紙を書くか、それくらいしかありませんでした。インターネットの時代になったのは、今の高校生や中学生にとっては生まれた頃か、まだ生まれていなかった頃のお話だから、随分と前のことだと思うかもしれませんが、私にしてみれば、ついこないだのことです。だから、みんな以上に、現在と過去(二〇年以上くらい前)を比較して、その変化に驚いているところです。

現在と過去の変化を考える時、忘れてはならないのが、デジタル化という言葉です。これは私が考えていることなのですが、このデジタル化が、日本の製造業にダメージを与えました。「モノを造る」ことで世界を席巻してきた時代は、より良いモノを造ることで世界をリードできたのですが、デジタル化が進んでくると、何も日本でなくても、もっと安く作れるところで、それなりのモノが作れるようになってしまい、海外へと製造が出ていってしまいました。「空洞化」は加速し、年を増すにつれて、影響が出てきているように感じます。

時はこの先、さらにあらゆるものを変えていくはずです。今はとにかく、その変化に負けないだけの力を付けておかなければなりません。そのために、何ができるのか、何をしなければならないのか…。最近は、そんなことばかりを考えてしまいます。

私が思うに、これから求められるのは、「自分で考え行動できる力」「論理的に考える力」「グローバル化する世界で通用する力」だと思います。今は、それらが無くても何とかなっているかもしれませんが、きっと、近未来では、それがなければ始まらない世界となっているはずです。

では、当塾で何ができるのか？今のままで良いのか？と、散々考え込んでおります。いろいろと考える中で最初に現れるのが「自分で考え行動できる力」をいかにして鍛えることができるのだろう…、です。先月号にも書いたのですが、「パズル道場(小学生・中学生が対象)」が最適であると判断し、早速導入致しました。現在、楽しそうに小学生が受講しています。彼らを見ていて思うのが、頭を使って疲れているんだけど、とても楽しそうで、時に、できなくて悔しそうな顔をすることもあるし、泣きそうになってしまうこともあるのですが、それでも自分一人で考え続ける楽しさを感じ始めているようです。どうやら効果は絶大のようです。

そして、「論理的に考える力」を鍛えるという問題にぶつかります。そもそも、考える時、論理が無ければ何も考えられません。それに、相手の言いたいことだって理解できません。全ての思考の根本には論理が作用しています。何より、自然そのものですら、とても論理的です。だからだと思うのですが、自然科学の根幹をなす「数学」が、「論理的に考える力」を鍛えるのに最適だと言われているのだと思います。

翻って、当塾の現状を見てみるとどうなのか？ 数学でも最も基本かつ重要なことを習う大切な中学生の数学の授業が、これまでは週一回しかありませんでした。数学の担当者からも、「何とかならないだろうか？」という声が出ていましたし、保護者の方の中にも「回数を増やしてほしい」という声もありました。そこで、中学生の授業体系を見直し、新年度は数学を週二回行うことにしました。これにより、新しく勉強したことの定着もしやすくなるし、指導する方も、指導しやすくなりますし、数学の能力を向上させることが可能になります。

「グローバル化する世界で通用する力」については、塾生・保護者の意識が非常に高いと痛感している昨今です。小学生でも、最近の子は、みんなアルファベットが書けるし、発音もとても上手です。中には、中三レベルの文法知識を持っている子もいたりもします。(極少数ですが)。恐らく、今後、更に英語の低年齢化は進むものと思われます。私個人としては、母国語の習得が何に増して必要だと思っておりますもので、あんまりな低年齢化はどうなのだろう…、と思っていたりもします。が、世の流れは低年齢化なのでしょう。当塾の中学英語の授業も、そろそろ次の新しい指導へと向かわなければならない時が来ているように感じています。

小学生、中学生の話題ばかりでしたが、何より高校生には、現実を知ってもらいたいと考えています。視野を広げてほしいと感じています。自分の周りだけを見ないでほしいと思っています。世の中はとても広いです。今年も、予備校で頑張った人が合格の報告に来てくれました。毎年、そうやって報告に来てくれる人がいるのですが、彼らは「予備校で知り合った友達と話をしていると、いかに自分が高校時代に勉強していなかったのかを知って、恥ずかしくなった。」と言います。外に出てみて他の高校の人たちが、自分たちが当たり前と思っているよりもはるかに頑張っていたんだと知るようです。あなたは自分の周りだけを見て、それが当たり前だと考えてはいけません。ローカル的な発想では、時代の流れについていけません。

来るべき未来を生き抜くために、今という一瞬一瞬を大切に過ごさなければならないと思います。

パズル道場 開講！

できなくても 考えた分だけ かしこくなる！

楽しみながら数学的なセンスや思考力を育てる画期的な能力トレーニングシステム

4月から 毎週土曜日 14：00～15：00

対象：小学生・中学生 場所：片桐英数塾 坂本教室

体験・説明等、随時受付しております。お問い合わせは、坂本教室まで！

春から始めよう！ 映像授業で受験対策

大学受験を考えるならば早めのスタートが成功のカギです。「学校の課題で一杯一杯…」なんて言っている場合ではありませんよ。主要教科の基礎固め、理科地歴科目の受験勉強は早めに計画的に進めておこう！

詳しくは坂本教室まで！

体験受講・受講相談 随時受付中！！

～受講生の声～

・グラフィックスなどを用いて説明してくれるのでとても理解しやすいです。個性的で面白い先生が多いので、ちょっとした気分転換にもなりました。（K.Tくん）

・どの授業もすごく丁寧な説明で、基礎をしっかり固めるのに役立った。私立対策も十分に出来ました。（A.Sさん）

片桐英数塾からのお知らせ

坂本教室の4月のお休みは、
6日(日)，13日(日)，20日(日)，27日(日)、29日(火)，30日(水)です。

HP ｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp

合格おめでとう

2014 年度入試における塾生の合格状況です。

高校部 (2014 年3月22日現在)

国公立大学

岡山大学…３名 香川大学…５名 愛媛大学…３名 岐阜大学…１名
兵庫県立大学…１名 電気通信大学…１名 県立広島大学…１名

私立大学

東京理科大学…１名 法政大学…１名 日本大学…１名 南山大学…１名
同志社大学…２名 立命館大学…３名 関西学院大学…１名 関西大学…２名
東京農業大学…１名 龍谷大学…４名 京都薬科大学…１名 京都女子大学…１名
近畿大学…５名 京都産業大学…１名 甲南大学…１名 愛知淑徳大学…１名
甲南女子大学…１名 神戸女子大学…２名 川崎医療福祉大学…１名
ノートルダム清心女子大学…１名 神戸松蔭女子学院大学…１名 (順不同)

中学部

観音寺第一高校…２８名 丸亀高校…４名 高瀬高校…３名
三豊工業高校…１名 善通寺第一高校…１名

※ 合格体験談は編集後紹介します。

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。